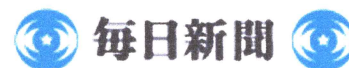


最低賃金1118円に決定、上げ幅は過去最大 物価高など背景

8/4(月) 18:38 配信 738



2025年度の最低賃金（時給）について、中央最低賃金審議会（厚生労働相の諮問機関）の小委員会は4日、全国加重平均で63円（6・0%）引き上げて1118円とする目安をまとめた。今春闘の高水準の賃上げや物価高などを背景に、昨年度の50円（5・0%）を上回る過去最大の引き上げとなった。

【グラフで見る】最低賃金と引き上げ率の推移

最低賃金の目安について議論する
「中央最低賃金審議会」の小委員会
=東京都千代田区で2025年8月1日
午前、塩田彩撮影

最低賃金を巡って、政府は「20年代に全国平均1500円」との目標を掲げている。達成には今年度を含め単純計算で毎年7・3%の引き上げが必要だが、今年度はこれを下回った。

【塩田彩、宇多川は

<別資料>

- ▼2021年度が28円
- ▼2022年度が31円
- ▼2023年度が43円
- ▼2024年度が51円でした（5.1%増）。

その結果、最低賃金は全国平均で2023年度に初めて1000円を超え、昨年度は1055円になりました。